

インターネット 「岸和田市立浜小学校」 校長室だよりで、バックナンバーがみられます。

# 校長室だより



H25 (2013) 年度 NO.4.

岸和田市立浜小学校

渡瀬 克美

## 学校協議会委員長山本義治様に

### 「地車と浜学校」「学校に望むこと」について



お話をさせていただきました。

8月30日に本校学校協議会(山本義治様=元浜地区連合町会長、梶野郁子様=学識経験者、新屋久和様=PTA 会長)の委員長山本様に本校全教職員を対象にお話をさせていただきました。ねらいは、「教師として自分の仕事を満足に行うためには、職場のあるこの地域を知ること以外に地域に根付いた教育はできない」ということを踏まえ、地域の長老の方の話を聴くことです。

内容は大きく次の3点でありました。

1. 浜の気質は『絆』である。絆の語源は、離れないようにつなぎとめることである。つまり、一つの糸をみんなでつかむことである。転じて、断つことのできない人と人との結び付きをさし、綱の意味から家族や友人など人と人を離れがたくしている結び付きを言うようになった。浜のPTA新聞「七町の絆」も同じである。七つの全ての町に「地車」があり、それぞれの地車に誇りを思っているところであること。その中で地域の絆(つながり)がある。岸和田の「地車まつり」は1700年代から始まる。現在の形になったのは、明治時代『官』ではなく『民』がつくった祭りである。自主運営、自主規制、自主警備が特徴で、「自分たちで決めたことを自分たちで守る」祭りである。ここには、3つの文化がある。

一つ目は「木」の文化。地車はけやきでできている。

二つ目は「音」の文化。太鼓、鐘、笛である。

三つ目は「組織」の文化がある。年代毎の組織で成り立っている。

具体的には子ども会(保・幼・小)少年団(中学生)、青年団(高校生～)三十人組、若頭、世話人などで成立。

年代別の組織になっているのは、年長者の言うことを守る・大切にす

仕事は裏方からする・何をすべきかは年長者から教えてもらう、ということ。とりわけ「準備」と「片付け」が大切である。

浜小は、たてわり活動で、年長者が年少者の面倒を見ていたり、運動会の準備から運営、後片づけまで子どもがしていたりすることは、とてもよいことである。これらの力が「地車祭り」につながる。後片付けがきちんとできなくなったら岸和田祭りはすたれてしまう。自分たちで片づけることに意義と意味がある。



2. 学校は人間を育てるところであるから、勉強だけでなく人間教育をしてほしい。

自分の子どもだけがよかったらいいという考え方はよくない。私立中学校を受験するために、三学期に長期間学校を休むということをよく聞く。社会に役立つものは、「学力」だけではない。「集団行動」で身につけるものが大切である。塾の先生は学力だけを上げたら評価される。学校の先生には「人間教育」に頑張ってもらいたい。そして、ダメなものは「ダメ！」できないことは「できない！」とハッキリ叱ってもらいたい。それが本人のためであり、地域のためである。しかし、『叱る』と『怒る』は別である。

### 3. 教育の成果は5～10年後に分かる。

教育は促成栽培やない。一朝一夕に成果を求めるのではなく、5～10年後を考えて、教育をしていくことが大切である。先生には、子どもが大人になって同級会に呼ぶような教師になってほしいと願っている。そして、子どもと遊ぶ教師であってほしい

と熱く語っていただきました。浜学校と呼ぶのは浜にはこの小学校しか学校はないんだ！という思い入れだそうで、私たち教職員も「浜学校に寄せる願いや思い」を新たにしました。

また、私たちが運動会を通して子どもたちにつけたい力、組織・管理・運営能力＝自治と集団＝自治能力が将来の浜の地車祭りにつながっているというご指摘に更なる継承・発展を！と強く感じました。

さっそく、今年の運動会の取り組みも、昨年度の反省文を読み返すことから始めています。今年も『子どもの子どもによる子どものための運動会』をめざして動き始めています。また、PTA 企画委員会をはじめ、保健補導、広報委員会等の皆様にはお世話になりますが何とぞよろしくお願い致します。



授業アンケートにご協力ありがとうございました

一学期にご協力を賜りました授業アンケート結果について、学校全体としての様子をお知らせします。保護者の皆様の信頼を得られるよう職員一丸となって教師力アップに努めたいと考えていますのでご協力

	A そう思う	B だいたいそう思う	C あまりそう思わない	D 思わない	E わからない	合計
興味・関心・意欲の向上	849	262	56	24	88	1279
学習内容の習得	928	235	68	16	78	1325
個の状況に応じた支援	915	236	44	24	77	1296
望ましい学習集団の育成	804	265	86	78	79	1312
児童生徒への適切な評価	877	195	84	31	80	1267

よろしく願いいたします

